

学校教育目標	生徒一人ひとりの個性や能力の伸長を図り、自らの生き方を創り出せる生徒を育てます。				
	○自ら学び続ける生徒(知) ○自ら考え、判断し、行動する生徒(徳) ○自他の人権を尊重する生徒(公) ○健康で、たくましく生きる生徒(体) ○社会の一員としての責任を果たす生徒(開)				
学校概要	創立 74 周年	学校長 続橋 正寿	副校長 我妻 智之	二 学期制	一般学級: 28 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 1070 人		主な関係校: 日吉台小・日吉南小・矢上小・北綱島小・箕輪小		

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○ 確かな学力の定着と自ら課題を発見、解決できる資質、能力の育成 ○ 自分を大切にし、人を思いやる心の育成 ○ 命を大切にし、心身豊かな健康を育成	日吉台中学校ブロック	○「笑顔」ー自己の良さに気づき、友達の良さも認め合える子 ○「あいさつ」ー進んで他者とかかわり合い、地域に生きる子 ・本校で実施するブロック内小学校への公開授業及び研究協議を更に充実させる。 ・小中交流日を中心に児童・生徒の交流の場を設定する。 ・各小学校に生徒会役員が出向いて行うガイダンスを更に充実させる。 ・児童生徒指導や特別支援教育の情報共有を更に深める。

中期取組目標	○生徒の主体性を引き出し、活力と魅力ある学校づくりを「チーム台中」として保護者・地域とともに進めています。 ・思考力、判断力、表現力を高めるために、授業において言語活動を充実させています。 ・生徒も職員も多様性を認めながら、ブロックテーマの「笑顔とあいさつ」に溢れる日常を創造しています。 ・生徒会活動、行事への取り組み、部活動などで、生徒が主体的に考え、行動しています。 ・さまざまな体験を通して生徒のコミュニケーション能力が向上しています。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>確かな学力</b> 担当 教育課程・学習	①小中一貫教育推進ブロック授業研で全学級の授業公開を行うことを通して、授業づくりの視点を共有する。②「授業を見合う週間」と授業研究会を連動させ、持続可能な授業改善の方策を確立する。③新学習指導要領に基づいて、「指導と評価の一体化」を推進する。
<b>豊かな心</b> 担当 道徳・人権・特活	①生徒の主体性を伸ばすように引き続き、生徒会活動や学級活動を通じて、主体性を引き出し、協働する素晴らしさを体験させたい。 ②道徳の授業研究を深め、心の葛藤や多様な価値観に触れることにより豊かな経験をさせたい。
<b>健やかな体</b> 担当 体育祭・体育科・保健	①体育祭や球技大会等の学年行事を意図的・計画的に行うことにより、生徒の運動や体力づくりに対する関心を高めたい。 ②体力向上と生涯スポーツの視点から部活動のあり方を見直し、計画的に取り組む。
<b>特別支援教育</b> 担当 特別支援教育	①特別支援コーディネーター会議を機能的に行い、具体的配慮を検討し実践する。②スクールカウンセラーに授業を参観してもらい、特別支援が必要な生徒を専門的見地から早期に発見する。③特別支援教室(study room)を更に生徒の実態に合わせて運営できるように工夫・改善を行う。
<b>生徒の主体的活動</b> 担当 特活・学習	①朝会の運営や生徒総会の企画・運営を生徒が更に主体的に行えるように指導していく。②学年行事に生徒の主体的活動を取り入れ、思考力・判断力・表現力を育む。③グループワークなどを取り入れ、協働しながら問題解決を図れるように指導を継続していく。
<b>生徒指導</b> 担当 生徒指導	・教育相談を充実させ、生徒・保護者の思いに寄り添った支援を心がけ、いじめ等の未然防止に全教職員で取り組む。 ・生徒指導に対して、情報収集や教職員の連携を大切に、迅速な対応を行えるようにしていく。
<b>キャリア教育</b> 担当 特活指導	・地域の方々の協力のもと、1年でまちの先生、2年で職場体験学習、3年で自分の今後の進路を考える進路学習を実施し、学年ごとに系統性をもった指導を行っていく。
<b>地域連携</b> 担当 学地地連・管理職	・地域行事への参加を計画的に行うよう、情報収集を心がけ、多くの生徒・教職員が関わっていく。 ・台中づくり懇話会を実施し、学校運営に生かしていく。
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	①スクールカウンセラーが授業を参観するなどして生徒状況の把握に一層努める。②毎朝のいじめ防止対策委員会を更に機能化させる。③生徒指導上配慮が必要な生徒のリストを作成し共有化を図り、具体的な支援を行う。④生徒と教職員のコミュニケーション(あいさつ→会話→対話)を徹底する。
<b>人材育成・組織運営(働き方改革)</b> 担当 管理職	①月1回の「仲塾」を更に機能化して持続可能な取組とし、教員の資質・能力の向上を図る。②毎朝の校長室でのリーダー会議を更に機能化してリーダーの主体性を引き出し、課題解決に取り組む。③傾聴を心掛け、教職員の想いや考えを最大限尊重しながら、良さを認めて「任せて褒めて伸ばす」ことを実践する。